

NHKアートはNHKデザインセンターと協業し、マイクロプラスチックを含有しない撮影用オゾン「NART PFファンデーション」(PFII)を開発した。NHKによるパリオリンピックのスタジオ放送の中で、男性アナウンサーや解説の出演者(男性)のメイクに毎日使用されている。

同社は2021年12月に「美術制作の環境負荷削減対応プロジェクト」を立ち上げ、SDGsに配慮したテレビ美術の研

NHKアート

環境配慮型化粧品を開発 従来品同等の肌なじみの良さ



NART PFファンデーション(男性用基本色4色)

究を開始。美術セットやパターン(リップ)を制作したほか、番組出演者のメイク業務に携わることから化粧品開発にも

取り組んできた。番組用のメイク用品は、カメラを通じた見え方を優先するため、一般的な用途のものとは質感や発色、仕上がりが異なる。

強い照明での長時間の撮影に間に合うように、対応するため、リタッチ(メイク直し)しやすいうえ、一部だけリタッチをしてもなじみやすいと、透明感、保温力などのバ

オイルやグリセリンを使って「汗」を作り出すような、テレビならではの表現への対応など使い勝手への配慮も求められるという。

同社は開発にあたり、まず水溶性・生分解性プラスチックを使用した環境負荷の低いファンデーションを試作したが、満足できる使用感、質感を再現できなかったため、「マイクロプラスチックを使用しないファンデーション」の開発にシフト。2年強の期間をかけ、カバー力や重さ、ツヤ感、透明感、保温力などのバ

ランスを調整した。マイクロプラスチックは多くの化粧品で利用されるが、環境汚染の面から問題視されている。この製品はプラスチックフリーになっても使用感が変わらないよう調整されている。従来品から色味をさらに洗練することで、利用時のメリットが感じられるようにも仕上げた。実際を使用した現場からは「リタッチしやすくなじみやすい」「今までファンデーションと変わることなく使用できていた」といった声がかかっているという。